



～残暑お見舞い申し上げます。～

9月の声を聞いて少しは涼しくなると期待していましたが、まだまだ日中は真夏日まで気温が上昇しています。加えて、ここまですっと雨が少ない状況が続いていますので、果樹園地は喉がカラカラの状態です…かたまった雨が欲しいところです。（週刊天気予報をみるとまだまだ残暑は続く?!）8月は、最低気温も高く、寝苦しい夜が続いていましたが、このところ夜の気温が下がり過ごしやすくなっています。鈴虫の鳴き声も聞こえるようになり、少しずつではありますが、秋の足音が近づいている気がします。

9月は中野市の数ある秋果物が続々と収穫になります。りんご、ぶどう、もも、和梨、西洋梨、プラム、プルーンとなでしこ JAPAN のパス回しのように果物がラインナップされていきます。また、夏の日光を十分に浴びた濃厚な味の秋野菜も収穫になります。どうぞ一度中野市へお越しいただきご賞味ください！

先にも書きましたが、本年は連日真夏日となり、雨が少ないため、夏果実の糖度は高く、濃厚な甘みを感じる食味であるのが特徴です。雨が少ないことは、植物の生育には何かしらの影響がでるかもしれませんが、その反面収穫前に天気が良いことや雨が少ないことは果実品質にとっては好都合です。8月に収穫となったプラムやもも・ネクタリンは非常に甘く好評を博しました！

9月初旬は、中野市の主力品種である「川中島白桃」かわなかじまはくとう「黄金桃」おうごんとうの収穫最盛期となります。この川中島白桃は中野市のもも出荷量の実に40%弱を占める品種です。長野県内では最も遅出し産地ですが、その分甘みがしっかり乗った、果肉がプリップリの仕上がりとなります。最低気温が下がらないため、生産現場ではやや果肉の成熟が遅れていますが、その味にこうご期待ください！（写真：収穫直前の黄金桃（ビタミンCを豊富に含みます））



りんごの早生種「サンつがる」も8月下旬から収穫に入っていますが、高温が続いた影響で色が思うように乗ってきません。（最低気温が20℃を下回らない…）このサンつがるは温暖化のなかでは栽培しづらい品種になっていますが、つがる独特の、新鮮味のある食感とほのかな甘みを提供できるように収穫作業には細心の注意を持って進めています。出荷最盛期は9月上旬になる見込みですのでご期待ください！（写真：中野市深沢地区のサンつがる）



プラムの「秋姫」あきひめも9月が収穫期になります。もも類と同様、果肉成熟はやや遅れていますが、濃厚な甘みとほのかな酸味を併せ持った秋姫を提供したいと思っています。出荷は9月5日過ぎから出荷が始まり、10月初旬まで続きます。また、主力品種の「太陽」もこれから出荷ピークを迎えます。

9月下旬には、和梨の「南水」なんすいの収穫が始まります。前号でもお伝えした通り、本年は着果量も多く、果形も丸く果実品質はとても良いです。雨が少なくやや玉肥大が心配されていましたが、今のところ順調に育っています。先に収穫となった幸水や豊水とはひと味違った南水独特の甘みと食感をご期待ください。南水は長期保存が可能な品種ですので、年末までの安定的な出荷を予定しています。

野菜では、秋冬野菜の種まき・苗の定植が始まりました。おでんに欠かせない大根や特徴的な香りがあるセルリーなど、収穫が近づいてきた時にご紹介していきたいと思います。さて、今年は降雨が少ない年ではありますが、病気の発生も少ない年です。生産者の適切な管理で、キュウリ等の夏野菜の生育も良く、順調に収穫が続きます。

残暑厳しく日中暑い日々が続いておりますが、朝晩の涼しさや吹き抜ける風などからは秋が近づいていることを感じられるようになってきました。昼夜の寒暖差が大きくなるとナスの実がギュッとしまり、美味しさが増してきます。夏のナスとは一味違う秋茄子をご期待ください。

(写真：中野市草間の丸ナス（丸ナスが主流です。))



米穀では、9月上旬から順次稲刈りが始まります。うるち米の主な栽培品種は「コシヒカリ」と「あきたこまち」です。今年は病気の発生が少なく、たっぷり実った穂が頭をたれています。

適期収穫で品質の良い新米が収穫できるよう心がけていきます。新米のツヤツヤしたお米をご期待ください。

(写真：中野市古牧地区)



花き類では、お盆が終わりアスターやコギクの出荷が一段落しました。9月はお彼岸用コギク（夏秋コギク 中生）の出荷が忙しくなります。現在も少しずつ出荷量が増えてきています。

今年の夏は平年の半分以下の降水量で、土も植物も乾燥していました。そのため、開花期の遅れや花卉の生育不良による小輪が心配されましたが、生産者の丁寧な管理により、平年並みに蕾を膨らませています。

また、高温・乾燥という気候で、ハダニの心配もありましたが、未だ発生が見られません。葉に傷もなく生育良好ですので、綺麗なコギクをご期待ください。

8月の中下旬となり、夕立による降雨が増え、干ばつ状態が続いていた畑に、ちょうど良いお湿りとなりました。まだまだ暑い日が続くようなので、根腐れや病気に気をつけ管理に力を入れていきます

お彼岸に赤、白、黄色の色鮮やかなコギクをお届けしていきますよう、心がけていきます。



こずえ 梢のワンポイント講座 ～白菜の栽培～

冬の野菜として、鍋料理や煮物に重宝される白菜。この時期に、種まき。植え付けを行います。冬に美味しい白菜を楽しんでもらえるよう、栽培ポイントをお伝えいたします！



葉が上手く巻くよう、**種まきは9月10日までに！**
苗は種まき後20日頃の苗を使用！
（本葉4枚前後のもの）

また、収穫の時期になりましたら、ポイントをお伝えいたします。
最初の管理が重要ですので、適期に育て、大きくて綺麗な白菜を作しましょう！